

令和8年度 曾於市立中谷小学校グランドデザイン



国、県の教育施策

日本国憲法

曾於市の教育施策

基本理念

人権尊重の理念の下、共に学び、共に生きる教育を推進し、まさかの時代をたくましく生きぬく心を育む

校訓

明るく 仲よく 強い 中谷の子

学校教育目標

心身ともに健やかで 自ら学び心豊かでたくましく 生きる力をもった「中谷の子」を育てる

【こんな学校に】

- 笑顔あふれる活気に満ちた学校
- 違いを理解し、認め合い、共に成長する学校
- 安心・安全・整然とした学校
- 家庭・地域に信頼され地域と共にある学校

【こんな子供に】

- 基礎学力を身に付け、自ら学び、考え、主体的に行動できる子供【知】
- 明るく思いやりのある子供 【徳】
- 粘り強くあきらめない子供 【体】
- 進んで仕事に取り組む子供【奉】

【こんな職員に】

- 教育愛と使命感にあふれ、同僚性を構築しようとする職員
- 研修に努め日々の教育実践を大切にする職員
- 家庭・地域・関係機関等とつながり協働できる職員（共感・信頼）

本年度の経営の重点課題

- ① 「個別最適な学び」による学習の基礎・基本の確実な定着と「協働的な学び」による豊かな学力の向上を図る（学ぶ）
 - ・ 授業改善（学習者主体、聴き合う関係づくり（同学年・異学年交流）による「自律」と「共感」の育み
- ② 心元気・体元気、聴き合う関係を土台とした学級経営、特色ある教育活動（ジャンベ活動他）をととした豊かな心の育成する（育む）
 - ・ 総合的な学習の時間（生活科）における「奉仕」と「貢献」の育み

キャッチフレーズ

響き合い

木の温もりの中 子供も先生も 行きたくなる中谷小学校

分かち合う

～響き合い 分かち合う～

合言葉 「共に学び 共に成長」

目的とねらいの明確化
(whatとwhyを問う)

個別最適、協働的な学び
(聴き合う関係、対話)

共に学び・共に成長
(自己信頼・他者信頼)

カリキュラム・マネジメント
(融合・連携・協働)

コミュニティスクール

学 ぶ

- 1 共感する心の育成
(気付き・理解・認め合い)
 - ・ 協働的な学びの充実
- 2 自立する力の育成
(自ら考え・判断・行動)
 - ・ 生徒指導の充実
 - ・ 特別活動の充実
- 3 確かな学力の向上
(自ら学び・継続)
 - ・ 学び方の育成
 - ・ 基礎学力の定着
 - ・ 個に応じた指導の工夫

他人と協調してよりよく問題を解決しようとする力の育成

育 む

- 1 学級経営の充実
 - ・ 共感的人間関係の育成
 - ・ 安全・安心な風土づくり
- 2 健康教育の推進
 - ・ 心の健康づくり
- 3 体力向上の推進
 - ・ 学校体育の充実
 - ・ 教科外体育の充実
- 4 奉仕・貢献する心の育成
 - ・ 奴隷の継承
 - ・ 勤労・奉仕的活動の工夫
(地域の方との協働作業)

「知」「徳」「体」「奉」の調和のとれた成長促進

つなぐ

- 1 チャレンジする心の育成
 - ・ 道徳教育の充実
 - ・ 学校行事の工夫
 - ・ 評価の工夫
- 2 キャリア教育の推進
 - ・ 総合的な学習の時間工夫
 - ・ 幼・保・中・高との連携
- 3 郷土・国際理解教育の推進
 - ・ 郷土の生活と歴史を学ぶ教育の工夫
 - ・ 自国や他国の文化を理解する場の工夫

持続可能な社会づくりの一人として夢・目標に向かって努力する心の育成

守る・支える

- 1 信頼される学校づくり
 - ・ 服務規律の厳正確保
- 2 家庭との連携
 - ・ 子ども中心、協働作業
- 3 職員の資質向上
 - ・ 子どもの姿に学ぶ研修
- 4 社会に開かれた学校づくり
 - ・ 積極的情報発信
 - ・ 特認校制度の推進
- 5 適正予算・施設・設備・管理
 - ・ 学校事務の適性化
 - ・ 安全点検の適切な実施
- 6 安心・安全な学校づくり
 - ・ 危険意識の高揚
 - ・ 校内外の事故防止の徹底

子どもたちの健全な成長に関与する使命感と責任感の自覚

一事徹底：聴き合う関係づくり

学校自慢：明るいあいさつと笑顔

業務改善ワンアクション：退庁18:00までに